

猪の瀬戸の水生動物！



水生昆虫の幼虫やカエルの幼生が多い湿地流

タカハヤ



1 2 3 4



タカハヤもすんでいる水たまり

大きさは2m×1.5m、深さ0.4m程度です。



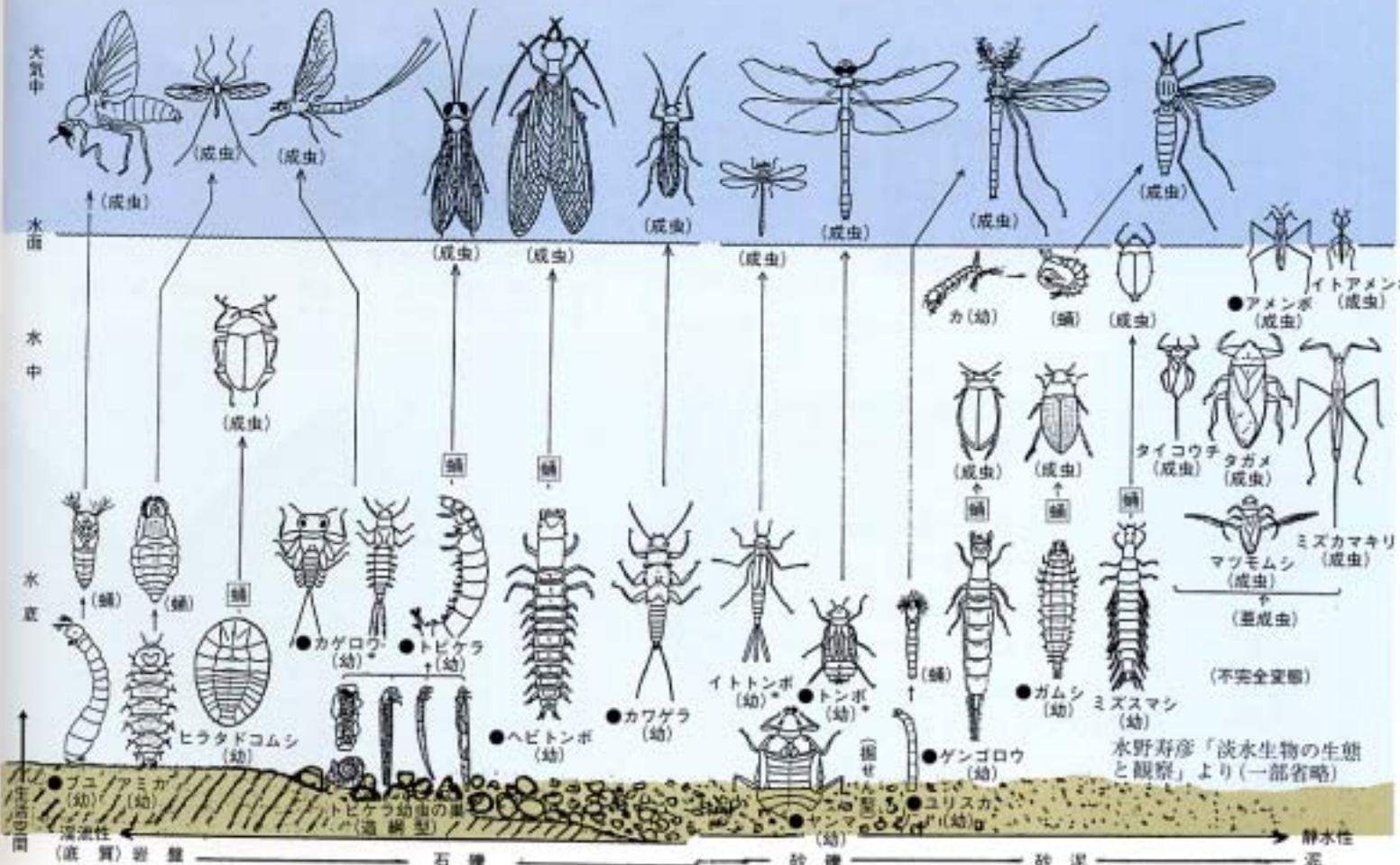
水口山の森林の渓流

ムカシトンボの幼虫は
かな森林内を流れる渓流
指標種です。



ムカシトンボ

湿原内の水系から採集できた水生動物は全部で63種類でした。主なものは水生昆虫の幼虫です。カゲロウ目10種類、トンボ目11種類、カワゲラ目4種類、半翅目のアメンボ2種類、トビケラ目13種類、その他甲殻類のニッポンヨコエビ、サワガニ、軟體動物のカワニナなどが多く地点から採集できました。また、近ごろ平地の水田や池沼であり目につかなくなっているカエル類で、山地・低山地などにすんでいるものが合わせて6種類もみられました。



水生昆虫の生活場所と生活史

24 ●

上の図は、代表的な水生昆虫の生活場所と生活史を簡単にまとめたもので、●印のついているものは猪の瀬戸で採集された種類です。ふつう湿地や池沼にすんでいるのは、中央部より右側の静水性の種類がほとんどで、左側の渓流性の種類はあまりみられません。

猪の瀬戸湿原は、小さい起伏を繰り返しながら北から南へゆっくり傾斜しており、低いところに湧水性の湿地流があらわれ、高くなった所には小さい水路ができたり、伏流となって見えなくなったりしています。湿原の東側と南側周辺部及びその中間には、これらの水系や後背地の山々からの地下水を集めた由布川の源流が流れています。確認できた水生昆虫に渓流性の種類が多くみられたのはこのようなことからだと思われます。

水生昆虫の顔やすがた



フタスジモンカゲロウ

頭の前方にある一对の突起と、丈夫な肢との共同作業で砂泥底をもぐりながら生活します。河川上中流に多くいます。



ヒゲナガカワトビケラ

山地・平地流の瀬にすみ、石の間に砂礫を縛って巣をつくり、網のような糸で捕獲網を張り、えさをとて生活しています。



ヘビトンボ

瀬の砂礫底にすみ小動物を捕食します。性質があらく、手づかみにするとかみつかれます。俗に孫太郎虫と呼ばれています。



ミヤマカワトンボ

低山地や山麓の渓流にすんでいます。触覚が長いのと目の大いのが特徴です。